

12月7日(金)に6年生の算数の実践提案授業が行われました。

6年算数科授業における学び合い！

- ◆授業者 本多 香菜先生
- ◆日時 平成27年 12月 7日(金)2校時
- ◆教科等 算数
- ◆単元名 並べ方と組み合わせ方
「順序よく整理して調べよう」
- ◆目標
 - ・具体的な事柄について、起こり得る場合を順序よく整理して調べることができるようにし、筋道をたてて考えを進めていこうとする態度を身につける。



《本時で取り組む「学び合いを深めるための手立て」》

- グループでの話し合いの際の、着目点の提示(実際の教師の言葉かけ)
 - ・班で考え方をまとめてください。
 - ・途中の人は、誰の考えに近いか言ってください。
 - ・すべての可能性を全部出してください。
 - ・間違っているものも出して欲しい。間違っているという印を付けてください。

○思考の方向性を示す

「落ちや重なりがないように考える」ために、ある観点に着目したり、図や表を適切に用いたり、また名称を記号化して端的に表したりして、順序良く筋道を立てて考えること

《授業者より》

- 頭が柔軟な児童達のおかげで、教師が予想(期待)した通りの反応が返ってきた。樹形図で表し発表した班もあった。その結果、図を使って考えることの効率の良さについて、ほとんどの児童が気づいたと思う。
- 本時の学習の意味(価値)を最後まで見いだせない児童がいたのが残念である。具体的には、「なんでこんなことを勉強するのか分からない。将来使えなさそう。」という感想をもったようだ。導入あるいは課題に問題があったのかと思う。
- 次の時間は、児童から出た3つの方法をまとめ、一番確かな方法はどれか話し合った。その結果、どの方法も樹形図で表す考え方につながることを確認された。

《参観者より》

児童の様子

- 自力解決の場面では、言葉・記号・図等、様々な考えが出ていた。自分なりの考えを出す習慣が身についていると思った。

- 良い意味でよく反応する児童達だと思った。とても活発だった。
- 題材を工夫し、児童の学習意欲を引き出していた。
- 考える素地ができています。学び合う集団になっていると思う。

手立ては有効であったか

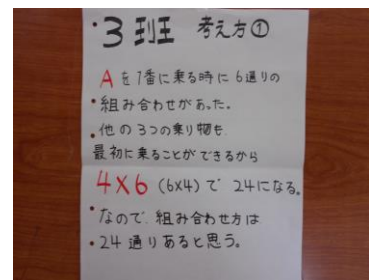
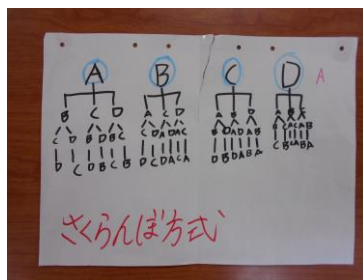
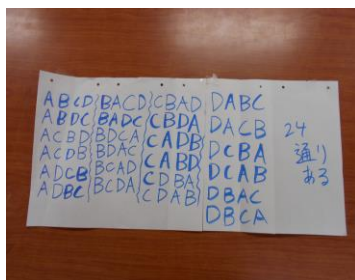
- 児童の体験(修学旅行)を題材にしたことは、学習に対する良い動機づけになっていたと思う。
- 記号化する良さを児童から引き出し、その後の学習活動が効率良く進んだ。
- 思考の方向性を示すことにより、効率良く数える方法を考えた児童が多かった。

目標は達成されたか

- 一人一人が自分なりの方法を考えることができた。
- 友達の考えもよく聞いて理解しようとしていた。
- 最後に各班から出た考えを見比べることで、効率良く数える方法を押さえられていたと思う。

その他

- テンポに緩急があり、児童の集中が途切れなかった。
- 説明が上手だった。無駄が無く、分かりやすかった。
- 何をするのか明確で、児童が見通しをもちやすい流れだった。
- 児童の長所を授業に生かして、展開していた。
- ▲グループ学習のとき、1つの班だけ話し合いが平行状態で進まなかった。教師の指導(支援)が必要だったと思う。
- ☆本時の学習の意味が最後まで見いだせなかった児童に対して、「いろいろな可能性を考えることは大切。」という内容の話をしてあげたらどうか。これがきっかけで、算数嫌いにはしたくない。



「並べ方と組み合わせ方」という難しい題材に対し、思考の方向性をしっかり示しながら、学び合いを組織し、より良い方法に気づかせていった本多先生、授業提供ありがとうございました。

(文責:志村)